

令和元年度
網走市における景気動向調査
<第 I 四半期>

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

調査要領	1
1-1. 調査時点及び調査対象期間	
1-2. 調査対象	
1-3. 調査方法	
1-4. 回収状況	
第1章 概況	
2-1. 全体の動き	2
2-2. 業種別の動き	3
第2章 各判断項目回答割合と天気図	
3-1. 業況	4
3-2. 採算	10
第3章 産業別経営上の問題点	
4-1. 回答実数	11
4-2. 回答割合	11
第4章 産業別設備投資の状況	12
第5章 業界の景気動向等その他のご意見	13

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：令和元年4月1日(月)～元年6月30日(日)
- (2) 調査対象期間：令和元年4月～6月期実施、及び令和元年7月～9月見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業（30件）、製造業（23件）、卸売業（20件）、小売業（39件）、サービス業（44件）の156社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX,もしくは返信用封筒による郵送で回答を受ける。

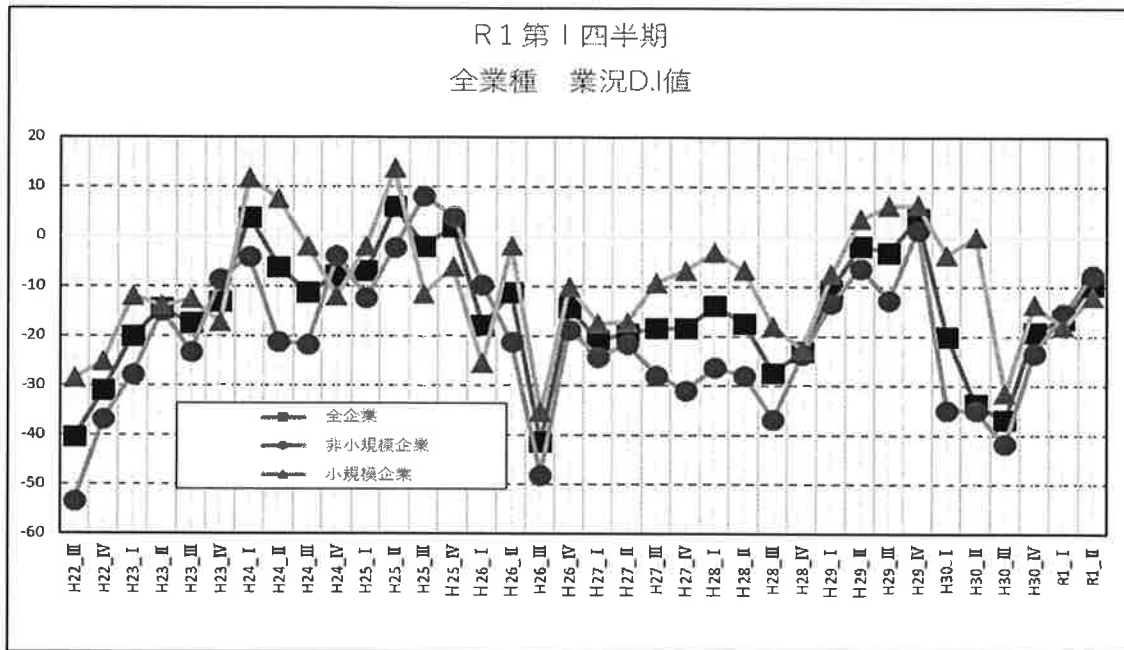
1-4. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業		30件	24件 (非小規模企業:13件) (小規模企業:11件)	80.0%
製造業		23件	17件 (非小規模企業:9件) (小規模企業:8件)	73.9%
卸売業		20件	15件 (非小規模企業:10件) (小規模企業:5件)	75.0%
小売業		39件	29件 (非小規模企業:16件) (小規模企業:13件)	74.4%
サービス業		44件	30件 (非小規模企業:18件) (小規模企業:12件)	68.2%
合計		156件	115件	73.7%

注) 小規模企業とは、常時使用する従業員が20名以下（卸売業、小売業、サービス業は5人以下）を示している。

第2章 概況

2-1. 全体の動き



令和元年度第 I 四半期（4 月～6 月）の業況は、前年度同月比対比で「好転企業」15.7%「悪化企業」32.2%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I 値は▲16.5 と前期に比べ 0.2 ポイント改善しましたが依然としてマイナス水準にあり、これで 5 期連続となりました。

業種別で見た業況は、製造業が 21.8 ポイント改善し▲5.9、サービス業が 4.1 ポイント改善の▲18.5 となりましたが、卸売業は 20 ポイント悪化の▲20.0、建設業 7.7 ポイント悪化の▲20.8、小売業は 2.6 ポイント悪化の▲27.6 と製造業、サービス業の改善が D.I 値を引き上げた格好で改善の数値は小幅にとどまり依然マイナス水準となっています。

次期（7 月～9 月）の業況判断 D.I 値は、今期と比べ 6.9 ポイント改善し▲9.6 を予想しております。業種別では建設業 8.4、サービス業 3.4 とプラスに転じる予想を立てている他、卸売業が▲13.4 で改善を予想していますが、一方で小売業は▲34.5、製造業▲11.8 で今季より悪化するとしています。

経営上の問題点としては「人材不足」が全体の 58.4 を占め、第 IV 四半期との比較でも 0.9% 増加するなど依然解消されていなく深刻さを増している状況にあります。また、「人件費増」「諸経費増」を問題にしている企業が増加傾向にあります。

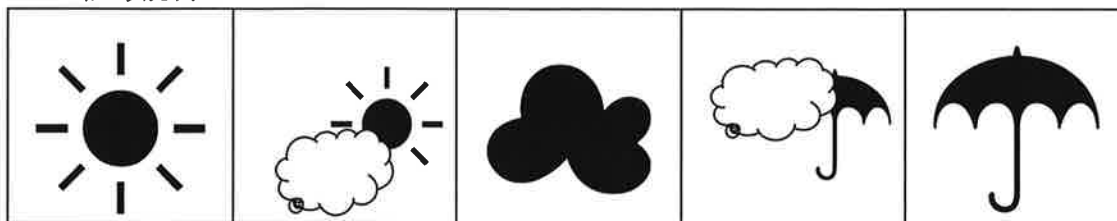
全体としては、5 期連続のマイナス水準となりましたが、数値的には今期も改善傾向を示しました。しかしながら数値は小幅にとどまり、また、業種間にばらつきが見られます。次期業況も更に改善を予想するなど回復傾向を示していますが、まだ予断を許さない状況にあるとはいえ、全業種とも経営改善に向けた対応が強く求められています。

2-2. 業種別の動き

業種	規模/項目	売上高 (建設業は完成工事高)			採算			次期 (D.I値)		
		増加	減少	DI	増加	減少	DI	業況	売上	資金繰り
建設業	小規模	9.1	45.5	-36.4	0.0	27.3	-27.3	25.0	9.1	9.1
	非小規模	33.3	50.0	-16.7	25.0	41.7	-16.7	8.3	0.0	16.7
	全体	21.7	47.8	-26.1	13.0	34.8	-21.8	8.3	4.3	13.0
製造業	小規模	0.0	25.0	-25.0	0.0	37.5	-37.5	-25.0	-12.5	-22.2
	非小規模	55.6	11.1	44.5	55.6	22.2	33.4	0.0	0.0	-11.1
	全体	29.4	17.6	11.8	29.4	29.4	0.0	-11.8	-5.9	-25.0
卸売業	小規模	20.0	60.0	-40.0	20.0	60.0	-40.0	0.0	20.0	-20.0
	非小規模	30.0	20.0	10.0	10.0	30.0	-20.0	-20.0	-10.0	-10.0
	全体	26.7	33.3	-6.6	13.3	40.0	-26.7	-13.3	0.0	-13.3
小売業	小規模	0.0	38.5	-38.5	0.0	15.4	-15.4	-46.2	-46.2	-23.1
	非小規模	18.8	50.0	-31.2	12.5	37.5	-25.0	-25.0	-31.3	-12.5
	全体	10.3	44.8	-34.5	6.5	25.8	-19.3	-34.5	-37.9	-17.2
サービス業	小規模	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	-8.3	0.0	0.0
	非小規模	33.3	44.4	-11.1	33.3	33.3	0.0	11.1	11.1	16.7
	全体	30.0	36.7	-6.7	30.0	30.0	0.0	3.3	6.7	10.0

第3章 各判断項目回答割合と天気図

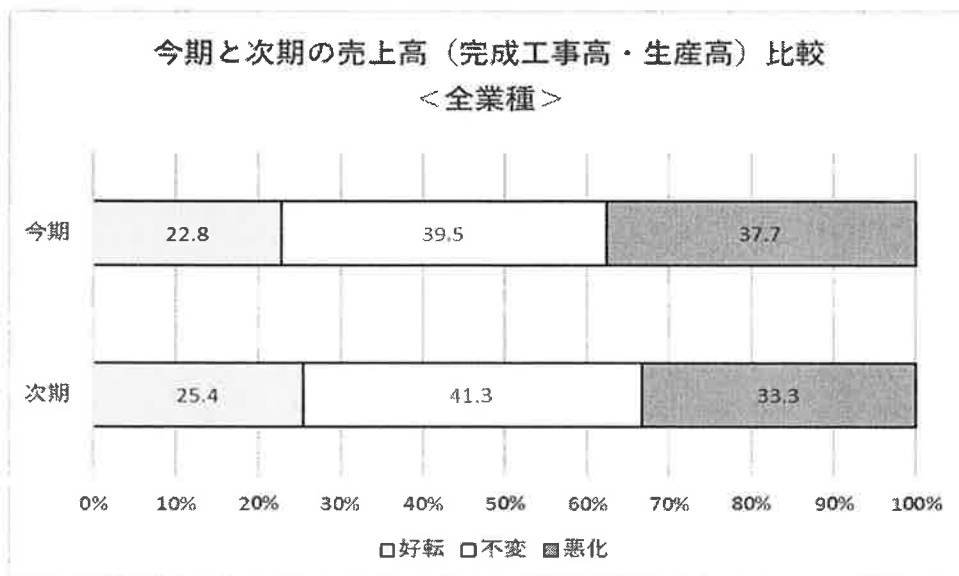
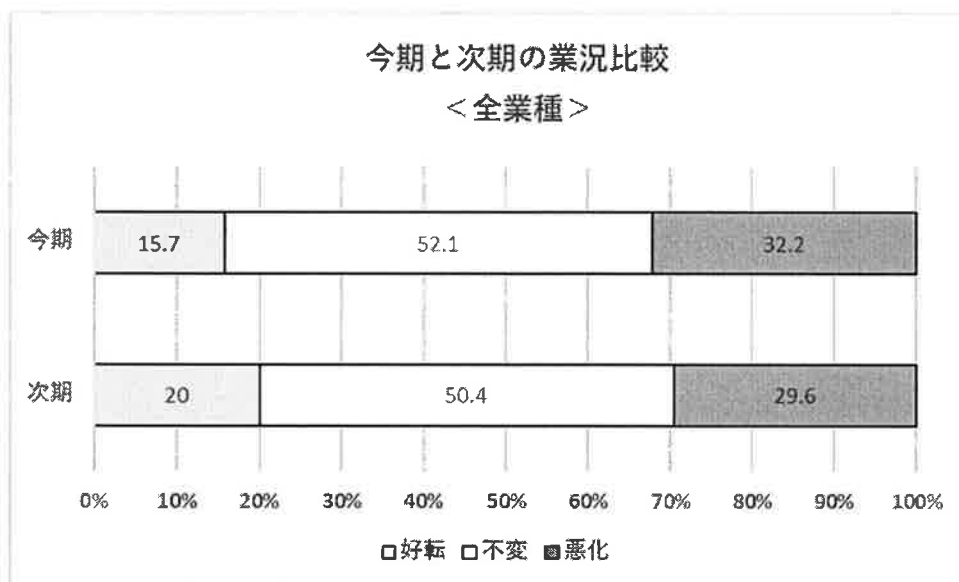
3-1.記号説明

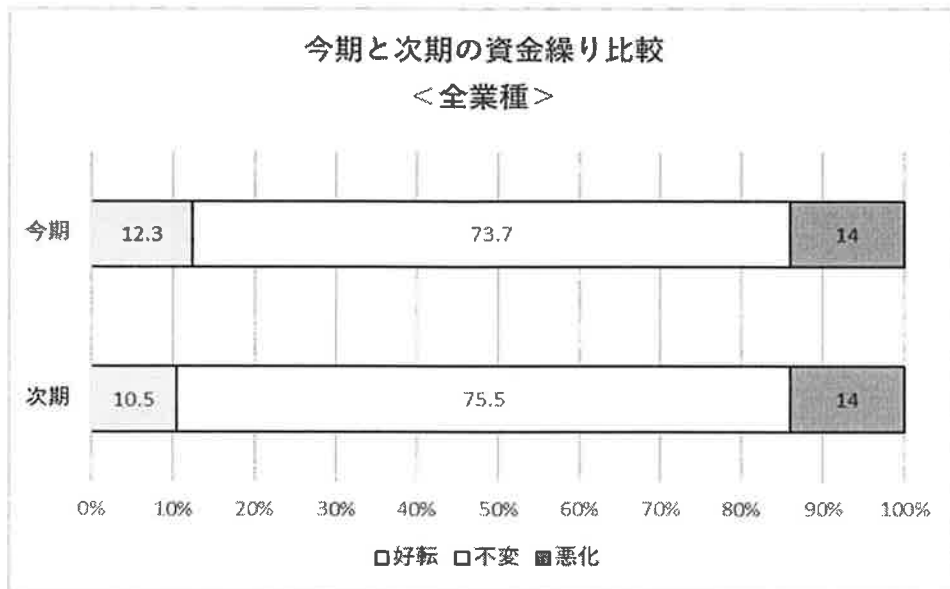


とくに好調 (D.I. ≥ 50) 好 調 (50 > D.I. ≥ 25) まあまあ (25 > D.I. ≥ 0) 不 振 (0 > D.I. ≥ ▲25) きわめて不振 (▲25 > D.I.)

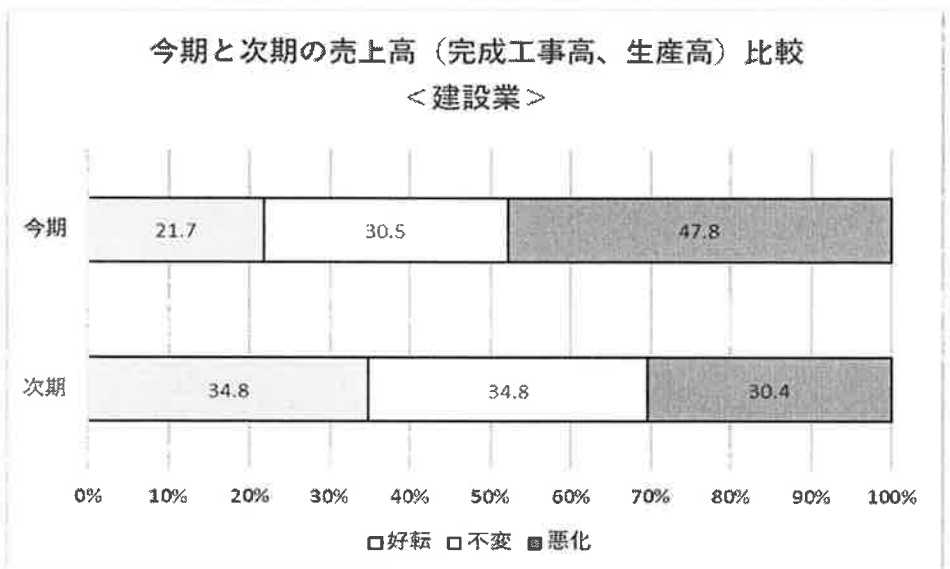
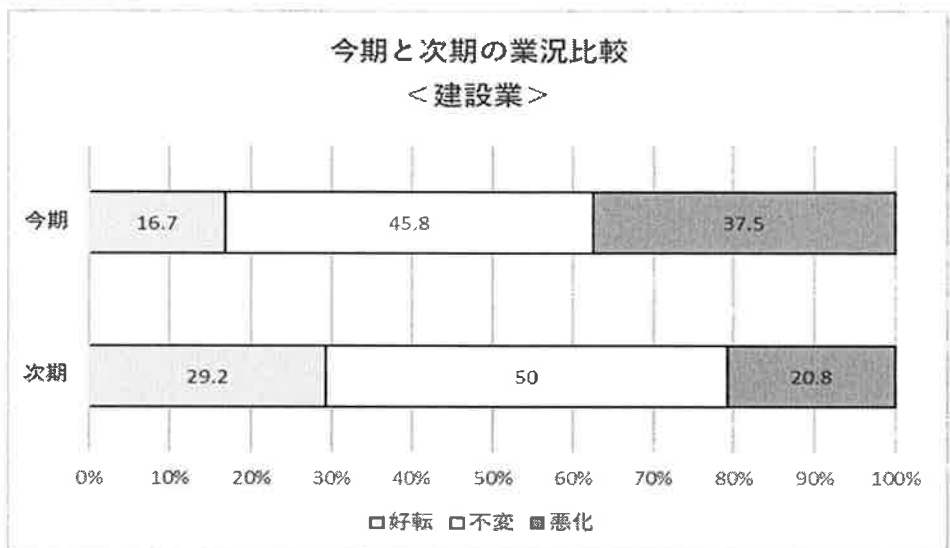
3-2. 業況

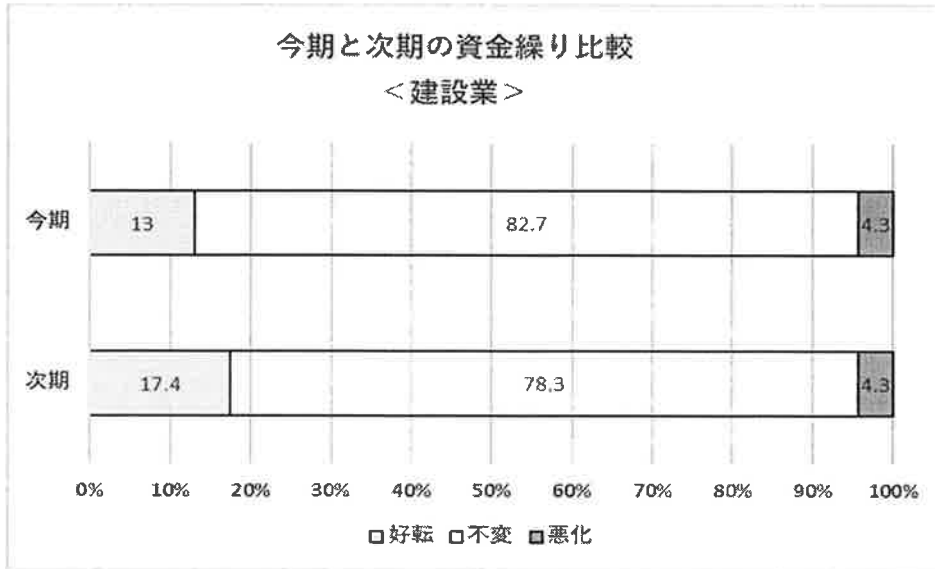
全業種





建設業



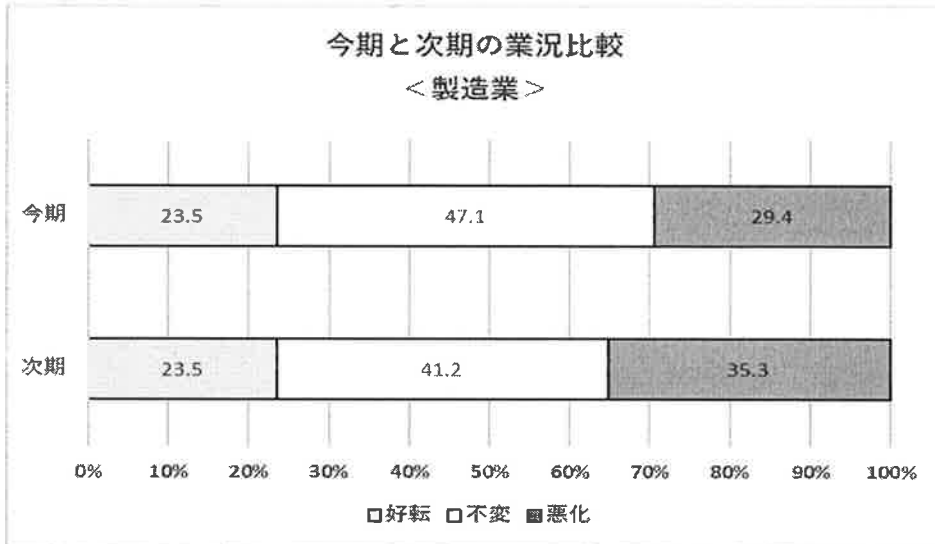


8.7



13.1

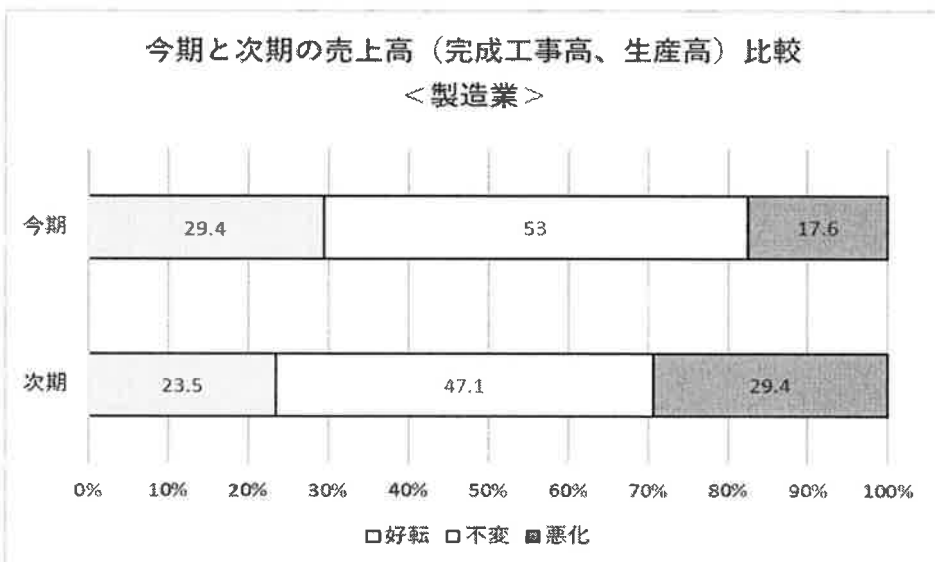
製造業



▲5.9



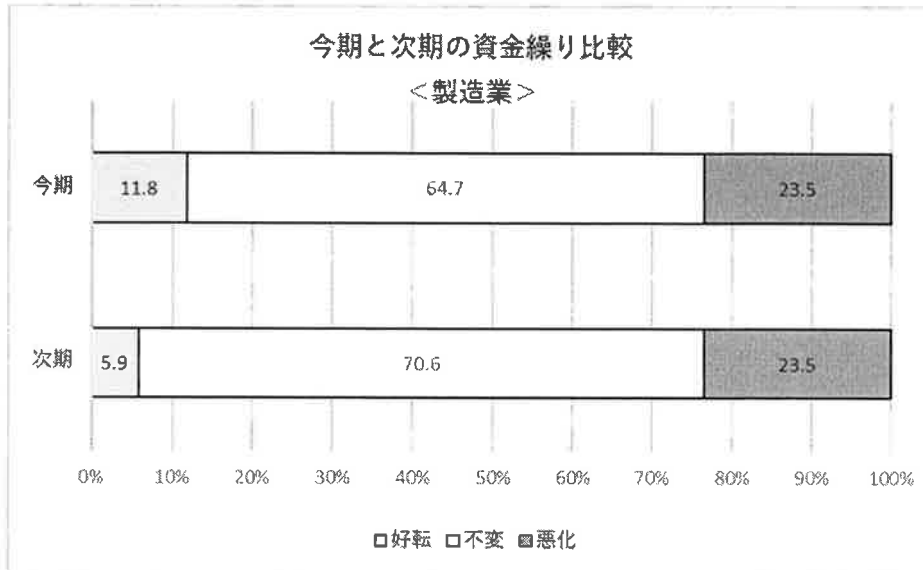
▲11.8



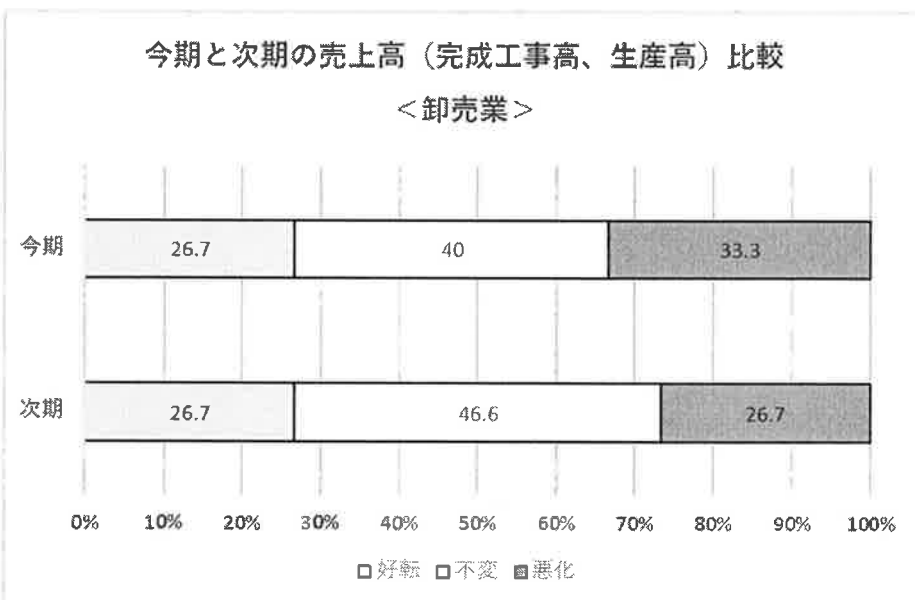
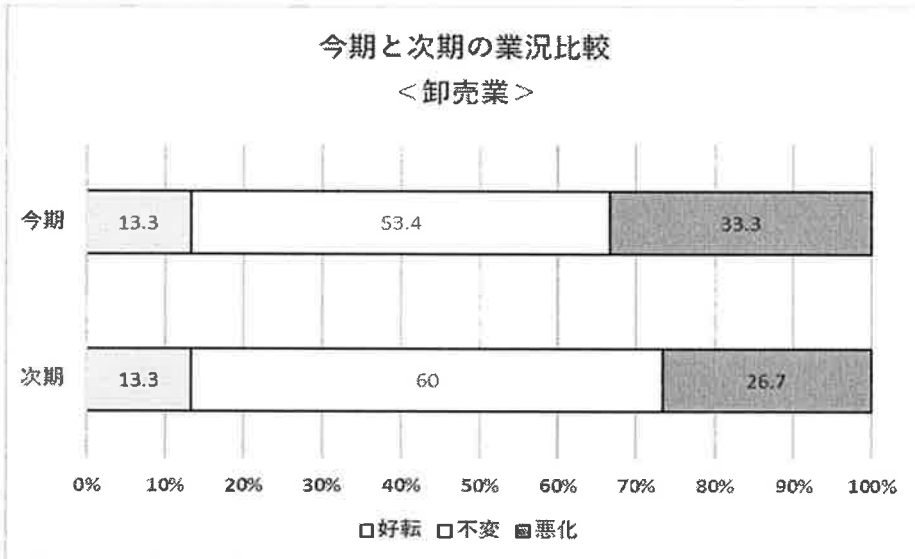
11.8

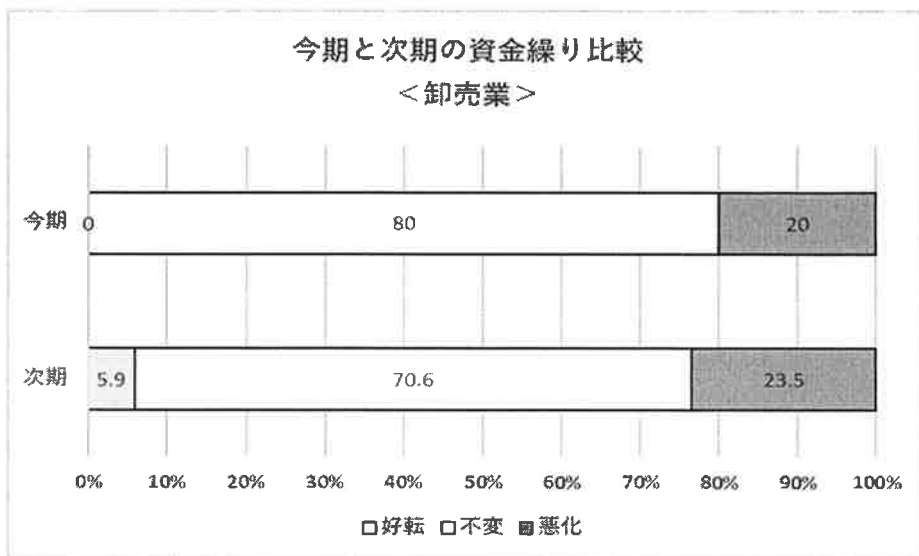


▲5.9

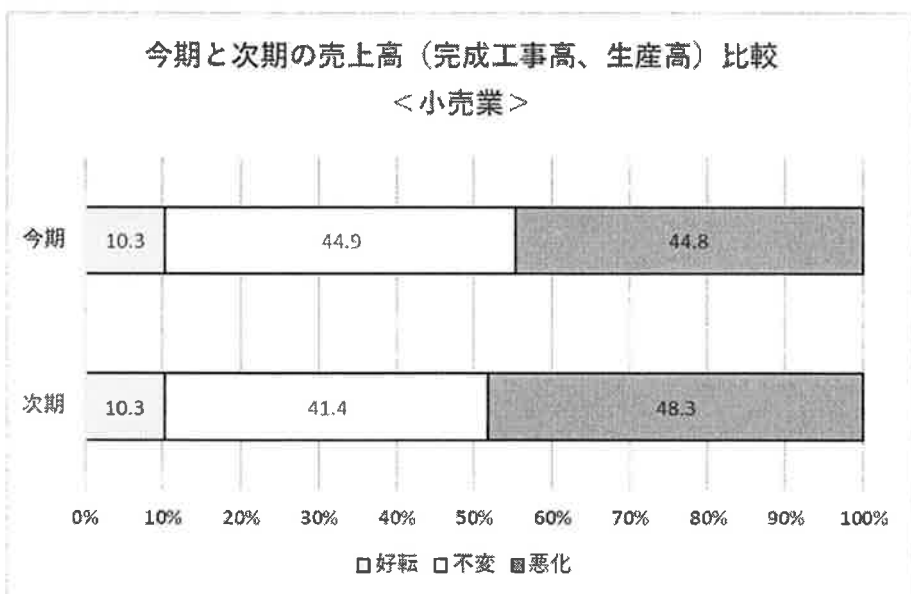
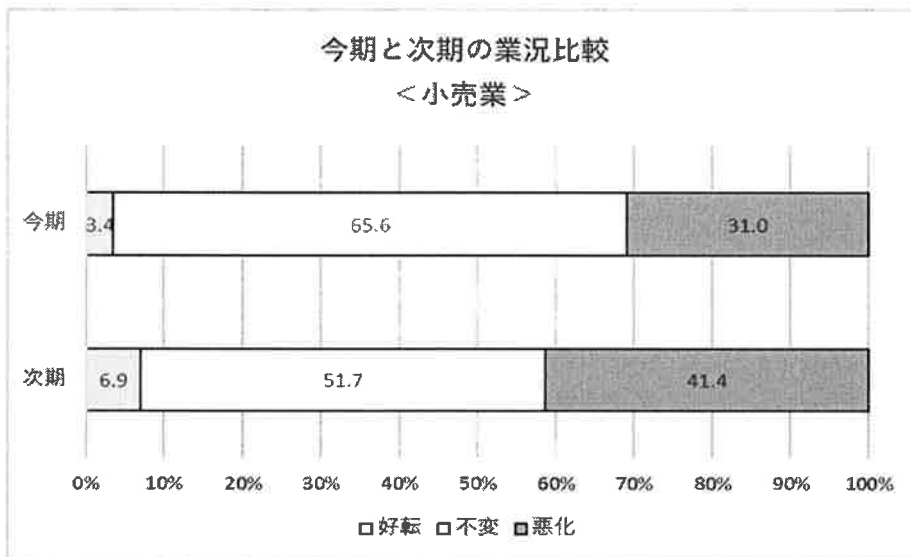


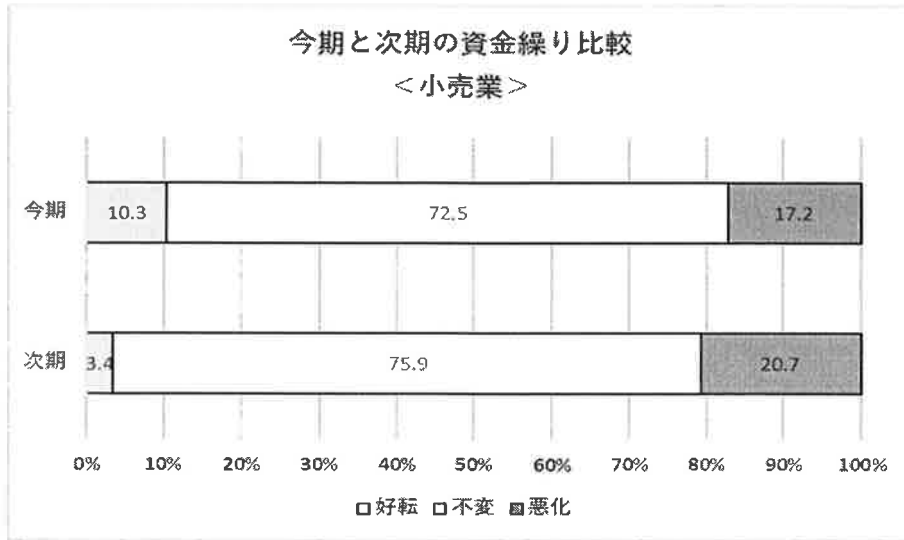
卸売業





小売業



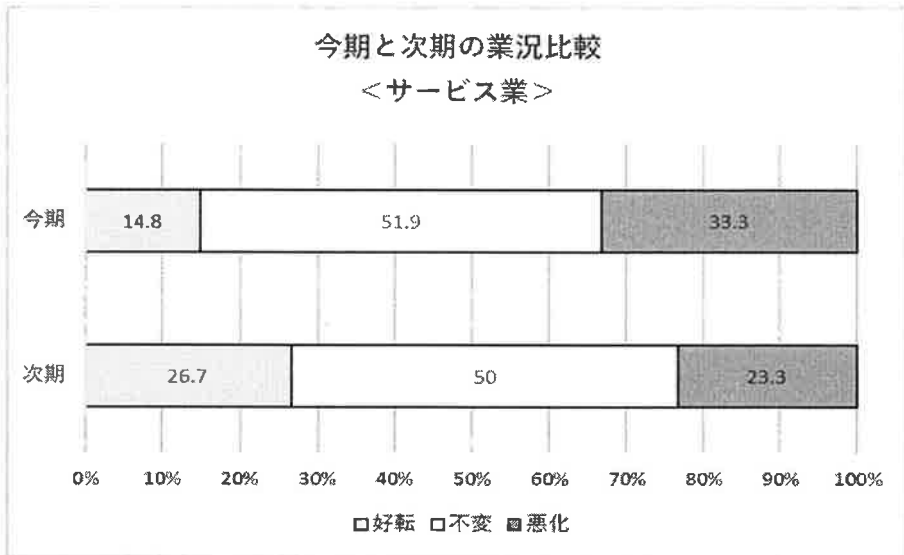


▲6.9



▲17.3

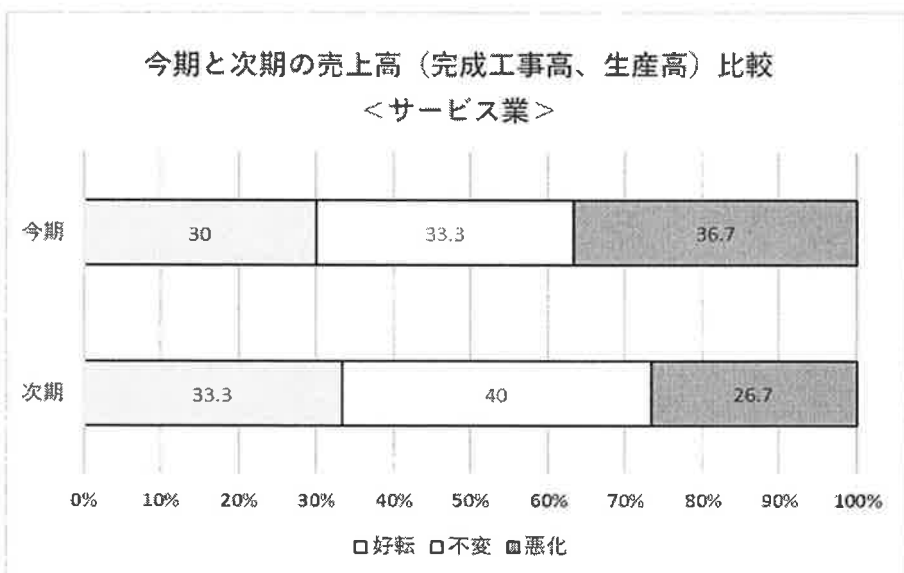
サービス業



▲18.5



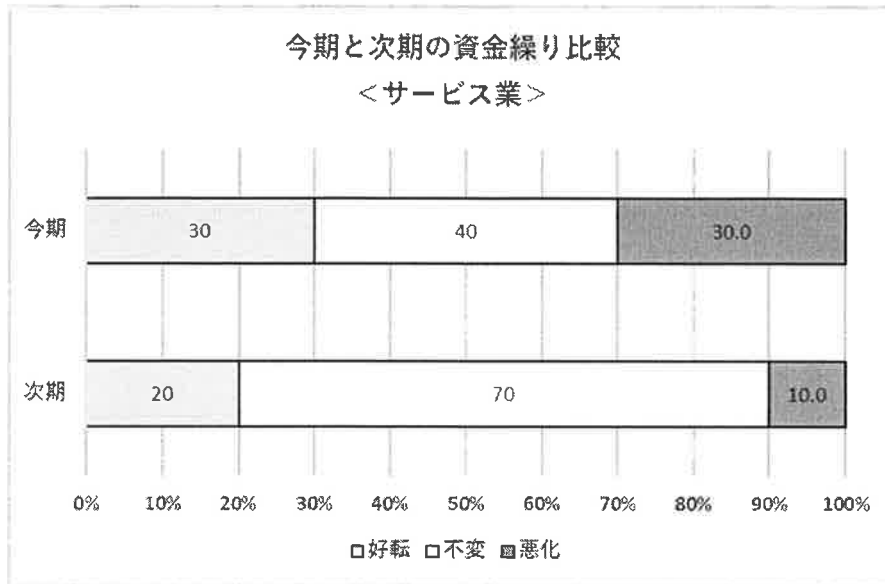
3.4



▲6.7



6.6

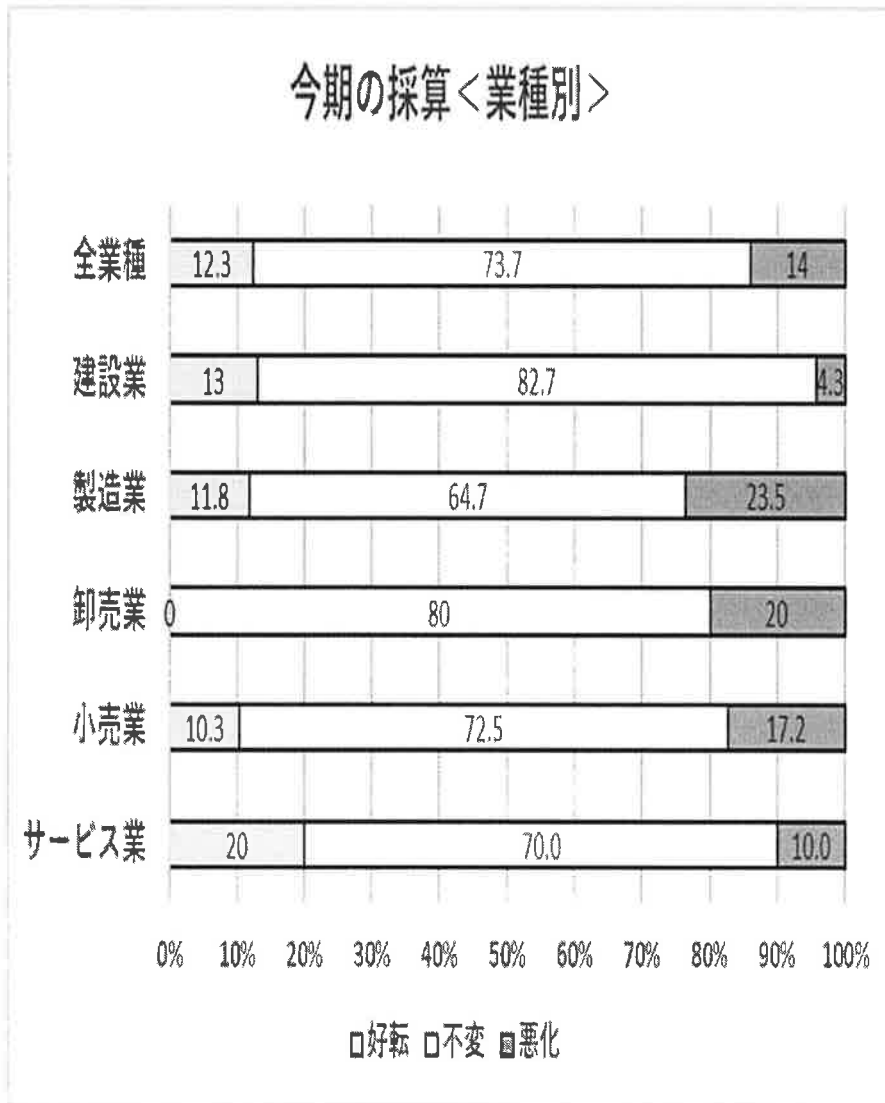


0.0



10.0

3-3. 採算



▲1.7



8.7



▲11.7



▲20.0



▲6.9



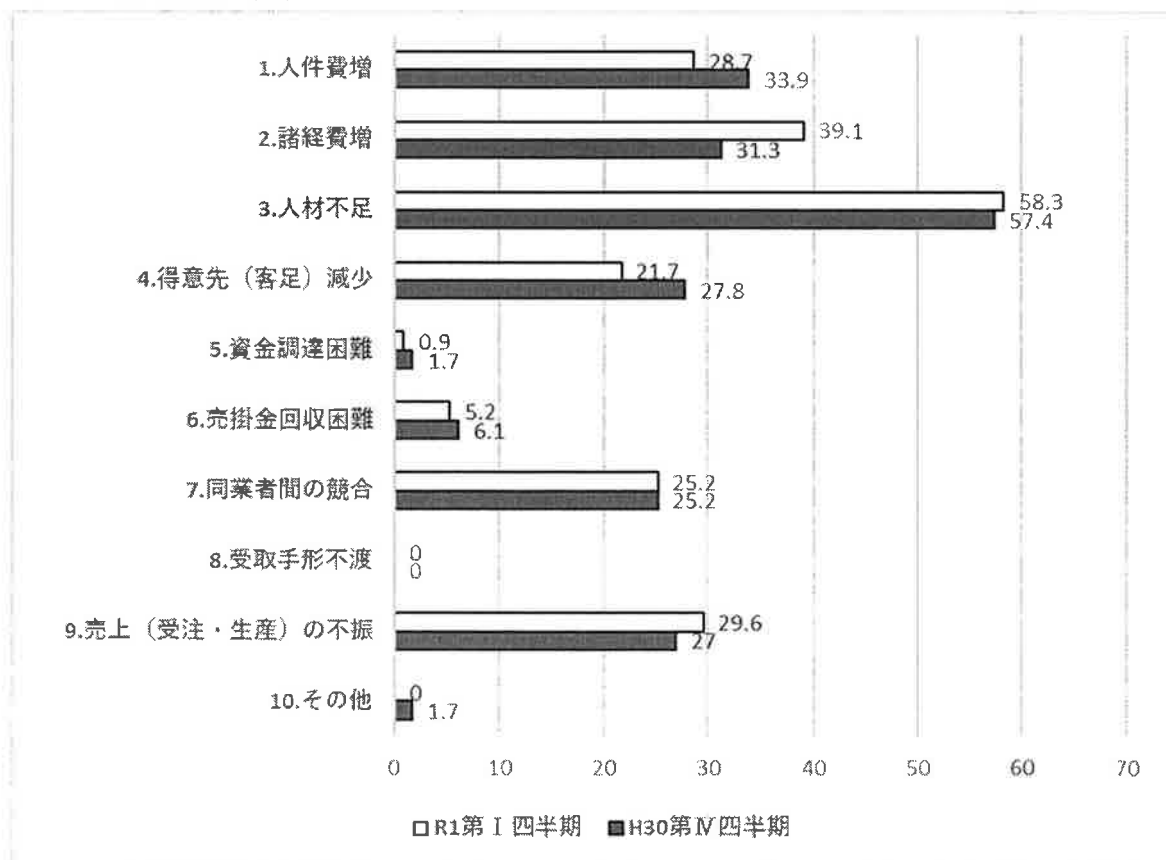
▲12.5

第4章 産業別経営上の問題点

4-1. 回答実数

業種	1位	2位	3位	4位	5位
建設業	人材不足	諸経費増	売上の不振	同業者間の競合	人件費増 得意先減少
製造業	諸経費増	人材不足	人件費増	売上の不振	同業者間の競合
卸売業	人材不足 同業者間の競合	得意先減少	売上の不振	人件費増	諸経費増
小売業	人材不足	同業者間の競合 売上の不振	人件費増 諸経費増 得意先減少	売掛金回収困難	売上の不振
サービス業	人材不足	人件費増	得意先減少 売上の不振	諸経費増	同業者間の競合 得意先減少
合計	人材不足	得意先減少 売上の不振	諸経費増	人件費増 同業者間の競合	資金調達困難

4-2. 回答割合 (%)



注：複数回答あり

第5章 産業別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。
設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2です。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資状況	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業		合計	
した	2件	8.7	6件	35.3	3件	20.0	4件	13.8	10件	33.3	25件	21.9
してない	21件	91.3	11件	64.7	12件	80.0	25件	86.2	20件	66.7	89件	78.1
無回答	0件	0.0	0件	0.0	0件	0.0	0件	0.0	0件	0.0	0件	0.0
合計	23件	100.0	17件	100.0	15件	100.0	29件	100.0	30件	100.0	114件	100.0

※右側の数字はパーセンテージを表している。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
土地	0件	0件	1件	0件	1件	2件
店舗	0件	0件	0件	1件	3件	4件
販売設備	0件	0件	1件	0件	0件	1件
車両運搬具	2件	2件	2件	2件	2件	10件
付帯設備	0件	2件	0件	0件	3件	5件
OA機器	0件	0件	1件	1件	1件	3件
福利厚生施設	0件	0件	0件	0件	0件	0件
その他	0件	2件	0件	1件	2件	5件
合計	2件	6件	5件	5件	12件	30件

※複数回答があるため、表5-1の合計件数と相違している。

※その他の記述内容(4件記述あり)

第6章 業界の景気動向等その他のご意見

◎業界の問題点について

【建設業】

- ・ 相変わらず人材不足で困っています。
- ・ 建設業で降雪地域でも12ヶ月工事ができる対策が必要。3月末、年度内という考えをやめる。

【製造業】

- ・ 今年から用紙、資材が10~20%値上げとなり価格に転嫁が進まない。
- ・ 原料不足による生産コストの上昇。

【小売業】

- ・ 9月までは消費税UP前なので売上増が見込まれるが10月~11月は反動が大きいと思われる。
- ・ 九州の大雨による被害(客減少)、エバン航空ストライキ(客減少)

【サービス業】

- ・ 物価がどんどん上昇してきています。値上げすることも簡単に出来ず。
- ・ 災害発生の起因による受注減少。働き方改革に伴う有給取得及び年間公休数増加にて生産性の低下。
- ・ 5月の10連休の影響あり。稼働日数減で売上減。地元での消費減。
- ・ 期待されたGW10連休は前半、後半とバラけた為か売上増には繋がらなかった。しかしながら地元客の利用が頭打ちが続く中、インバウンドを中心とした対策が急務と感じる。宿泊施設との連携・SNSの活用など。
- ・ 6~7月中、自宅部分の増築工事を行っており施術室に接する工事の時、約3週間休業したため売上が大きく下がっている。
- ・ 得意先の信用度。